



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

週報 No.27 2005.2.23(No.2354)

第2560地区ガバナー / 横山 芳郎
会 長 / 渡邊 喜彦
会長エレクト / 小越 憲泰(クラブ奉仕A)
副 会 長 / 渡辺 勝利(クラブ奉仕B)
幹 事 / 五十嵐 寿一
S A A / 船越 正夫
会 計 / 荻根澤 隆雄

例会日 / 毎週水曜日 12:30 ~
例会場及び事務局 /
三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内
例会場 / TEL 34-3311
事務局 / TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-ss@web-niigata.ne.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(~はshiftを押しながら“へ”のキーを
押ししてください)

本日の出席会員数:68名中51名
先々週出席率:78.46%

【ゲスト】

三條美術協会理事長 中村城翠様

【先週のメイクアップ】

[2.17] 燕へ

・加藤紋次郎さん

[2.22] 三條北RCへ

・平原信行さん、齋藤弘文さん



「ロータリーを祝おう 100年の歩み」
2004~2005年度国際ロータリーのテーマ



アプチロン

会 長 挨拶

渡邊喜彦 会長



みなさん今日は。卓話をお願いしております三條美術協会の中村城翠先生、ようこそおいでくださいました。後ほど卓話をよろしく願いいたします。米山奨学生、長岡技科大学、牛艶麗さん、ようこそおいでくださいました。どうぞごゆっくり御くつろぎください。

本日は、例会場をVIPにかえての例会です。こうして会場を代えて初めて判るのは、会場の有り難さではないでしょうか。当然として使わせていただいている三條信用金庫さんの厚意に改めて感謝申し上げます。さで、二つの大事な事がある日です。

一つは、本年当初より皆様に申し上げ、本日新潟日報さん、三條新聞さんに掲載されております様に、先日も三クラブでお祝いの行事をさせていただいた「ロータリークラブ発足100周年の記念すべき日」が本日であります。皆様方と共にその記念すべき今日を共に祝い、新たなる100年に向けすばらしいスタートを切ってゆきたいと思ひます。

次に、本日は三條ローターアクトクラブより小出君をお迎えし、表彰状をお渡しする予定でしたが、あいにくアクトの方々どなたも都合が悪くお出でいただけないとの事です。

小出君は長年三條ローターアクトクラブに所属され、数々の輝かしい功績を残されました。三條ローターアクトクラブのメンバーから彼を褒めてもらいたいという申請が生まれて、理事会でお諮りした結果、本日三條ロータリークラブとして表彰させて頂くこととなりました。本日の表彰により、三條ローターアクトクラブの会員諸君の今後の活動により一層励みが付き、会員諸君にやりがいの意識が生まれることを願っております。

会長挨拶は以上にさせていただきます。



三条ローターアクトクラブ小出さんのかわりに表彰をもらう。
新世代奉仕委員会 石月会員

近藤雄介さん

ロータリー 100 周年おめでとうございます。

中村先生、今日はありがとうございます。

菊池 渉さん

ロータリー 100 周年、おめでとうございます。

荻根澤隆雄さん

ロータリー 100 周年、お祝いを申し上げます。

川瀬康裕さん

残念ですが、早退させていただきます。

小越憲泰さん、佐藤 武さん、高橋 司さん、

杉山幸英さん、山田富義さん、永井敏行さん、

樺山 仁さん、会田二郎さん、松永一義さん、

渋谷正一さん

中村先生、今日は卓話ありがとうございます。楽

しみにしております。

3 月のお祝い

2 月 23 日分 ￥ 16,000

今年度累計 ￥ 713,000

会員誕生祝

- 2 日 日戸平太さん
- 4 日 浅野金治さん
- 8 日 伊藤寛一さん
- 16 日 小出子恵出さん



夫人誕生祝

- 11 日 渡邊洋子さん(喜彦)
- 16 日 杉山敏子さん(幸英)
- 16 日 熊倉恵子さん(昌平)
- 17 日 高橋恵子さん(司)
- 19 日 小林由美子さん(敬典)
- 23 日 加藤一代さん(紋次郎)
- 25 日 並木朋子さん(富士雄)
- 26 日 川又麻稚香さん(嘉瑞範)
- 29 日 野水富子さん(文治)

結婚記念祝

- 16 日 荻根澤隆雄さん

100%出席賞

- 1 年 明田川賢一さん

卓 話

三条美術協会理事長 中村城翠 様

皆さん、こんにちは。三条美術協会の理事長の中村城翠です。

テーマは書道の水についてお話しします。

墨色を中心とした墨についてですが、昔から文房四宝という言葉がありまして、書でいう筆・墨・硯・紙です。これらはみんな水に関係をしております。

特に水に関係するのは、墨と紙だろうと思います。紙は色々な木の皮を中心としてつく訳ですが、硯も水に関係しております。

これはもともと粘板岩と申しまして、簡単には粘土質の岩であります。有名な硯でタンケイと言う硯がありますが、ケイは谷と書きます。谷に流れる水の事です。日本でも長野で有名なリュウケイという硯がありますが、これも川に関係しており、川の淵の所にある山、又、川底から石を掘り出します。そんな事で硯も水に関係している訳です。

それから墨の件ですが、使う時に水をどの程度入れたらどうなるか、これが墨の濃さです。

墨には五彩というのがありますが、色どりが七色という意味で七彩・百彩があり、言葉が要するに色々な色に見える事です。

墨の色は無限にある訳で、墨の原料ですが煤と膠と香料があり、この3種類が混ざって墨が出来ています。煤が一番大事で、黒いのは煤であり、汚いものからきれいな色に作り替えるものです。

日本の文化はすべて中国から入って来て、ひらがなも漢字をうまく平安時代の女性が作り出したものです。

ニコニコ BOX

渡邊喜彦さん

今日はロータリー誕生 100 周年の記念すべき日、皆さんと共に祝いしましょう。

三条美術協会の中村城翠さん、よろしく願います。

藤田説量さん

中村先生のスピーチに感謝して。

墨も中国から入って来たものだそうですが、中国の古いものを見ると、明の時代にすでに墨の様なもので書いてあるものが残っていますが、漢代に松の木を燃やして作られたと、宋の時代の墨経の書物の中に残っています。

又、もう1つ油煙があり、松の老木を燃やしたもののや、ヤニから作るものもあります。

中国の南朝の時代約5世紀頃に、菜種油・胡麻油・桐油・椿油等があり、特に桐油が高価です。最後に鉱物から取る軽油・重油・クレオソートを燃やして作る煤が現在では大半です。煤を水に浮かせても混ざりませんので、粒子を結合させる為に膠を使いますが、今の子供達はボンドはわかりますが、膠はわかりません。

膠は牛・馬・鹿などの外皮と肉質との中間結合組織で、粘着力が強く透明なのが良くない。良い墨にはなりません。

もう1つの香料ですが、膠の悪臭を消し良い字を書く為に、麝香(鹿)・龍腦(樹)・梅花香を用います。膠は煤を固めるだけでなく、もう1つ大事な役目があります。膠を混ぜた墨は非常に長く残ります。又、表具をした時に煤が落ちません。墨汁と墨液には違いがあり、看板に書いて外に置いた場合に墨液は流れない、そういう意味で膠は非常に大事であります。



今回お持ちして書の墨の色の違いをお見せいたします。油煙墨には洋墨と和墨の2種類に区別され、和墨は日本で作られたもので、現在では質の良い墨が出まわっていますが、かつては1966年には中国でも良い墨が出まわっていましたが、その後は質が落ちていきます。

新潟に県展が入って来たのは私が大学2年生の時に、私も県展に出す為に紙も良いものを使った方が良かったので中国の紙を買って使っていましたが、紙が良すぎて筆が取られるは、にじみが余計に出るやうで見事に落選しました。翌々年にやっと入選する事が出来ました。

今回持って来たものは、15ccの水を使ったものですが、艶がありますが、2番目の物はそれを10倍に薄めたものです。3番目はそれを25倍に薄めたもので、そうしますと、色の違いとにじみがわかります。今回使ったものは天保九如という墨ですが、油煙墨を漆墨とも言い、漆を用いた高価な墨で艶があり、それを薄くしていくと見方によってはそれが茶色に見えたり、あるいはピンクに見えたり、赤紫色がかっ

ている様な色になります。私はだいたい作品を出展する時には、あまり濃くないものを出します。

昨年、弥彦で県央の美術作家5人展を弥彦村が主催してやったのですが、そこでカカボウジの言葉の書いてある作品を出展しましたが、手間がかかって面倒くさかったので、普通の墨を使ったのが楽で、又、墨も減らないのですが、余計に書きますので紙が非常に減ります。

一番最後に書のにじみ、三条ではちぢれと言いますが、にじみですね。

基線とは筆が通った線でその紙の線を通して、かすれは墨が少なく紙にうまく線にならなかった部分です。全体的な墨色の色は単に墨汁の問題だけではなく、画箋紙の質で紙にも色々の種類があり、書に使うのは画箋紙の良いものを使います。これは中国では青紺と言ひ、ミツマタの種類です。日本の紙はわらとか竹とかを原料にした紙が多いです。

厚いのから、薄いのまで、原料によって同じ墨を使っても色の出方が全部違います。

長く見ていると、良いにじみと悪いにじみが、だんだん墨の色がしっかりしているとかいう表現を使う。経験を積んだ人は同じにじみでもぼけているにじみと、しっかりしたにじみがあると言っています。

又、天候や室温・湿度なども関係してきます。今日持って来たのは最近書いたもので、雨が降るや雪が降るやで、カラッと晴れた方が良く書けると思います。又、あまり暑過ぎても紙が乾燥してパリパリになり、にじみの浸透がうまく行かない事になり、色々の条件が重なりあって、そして自分の気に入ったものや、納得の行くものが書けるものであります。

やればやるほど、難しいものだと思っています。

本日はありがとうございました。

中村城翠様への質問

質問 みんな同じ紙ですか？

同じ紙ですが、厚い所と薄い所があります。

質問 濃い墨だと大変でしょうか？

濃い墨だと多くでるので、ゆっくり書かないと

次週例会 3月9日 会員卓話 永井敏行会員

次々週例会 3月16日 クラブ休会

